

くにたちしけんりようごしえんしんぎかい
国立市権利擁護支援審議会

だい かい れいわ ねん がつ にち
(第6回 令和7年6月3日)

かいぎろく
会議録

かいぎめい 会 議 名		だい かい くにたちしけんりようごしえんしんぎかい 第6回 国立市権利擁護支援審議会
にち じ 日 時		れいわ ねん がつ にち か ごご じ ふん 令和7年6月3日(火) 午後6時30分から 8時30分
ば しょ 場 所		くにたちしやくしょ かい はーべすとあとち 国立市役所地下1階 ハーベスト跡地
でしやう 出席者	いん 委 員	そね なおき はやし ひろき あきの たつひこ かなざわ ゆうこ よこた まさし 曾根 直樹・林 大樹・秋野 達彦・金澤 裕子・横田 昌志・ こやま はるよし はやし みずちか やまじ けいこ いけだ きさき むらかみ さちえ 小山 晴義・林 瑞哉・山地 圭子・池田 希咲・村上 幸恵・ いのうえ はるな は が ひろゆき さとう としえ こだま みやこ 井上 晴菜・芳賀 弘幸・佐藤 寿江・兒玉 美也古
	じむきょく 事務局	くにたちしやくしょ (国立市役所) ふくし そうむ かちょう ちいき ふくし すいしん かかりちょう ちいき ふくし すいしん かかりしゅにん 福祉総務課長、地域福祉推進係 長、地域福祉推進係主任 (国立市社会福祉協議会) けんりようごせん たー かかりちょう けんりようごせん たー しゅじ 権利擁護センター 係 長、権利擁護センター 主事
けっせき いん 欠席委員		なし
ぎ だい 議 題		1. 「わたし い し そんちよう うえ たいせつ 私の意思の尊重の上で大切にしてほしいこと」について 2. 基本施策及び個別施策について 3. その他
こうかい ひこうかい べつ 公開・非公開の別		こうかい 公開
ひこうかい りゆう 非公開の理由		
ぼうちょうにん かず 傍聴人の数		めい 9名
はいふしりよう 配布資料		しりよう 1 「わたし い し そんちよう うえ たいせつ 資料 「私の意思の尊重」の上で大切にしてほしいこと しりよう 2 けんりようごしえんすいしんけいかく だい 資料 権利擁護支援推進計画(たたき台)

だい かい くにたちしけんりようごしえんしんぎかい
第6回 国立市権利擁護支援審議会

そ ね かいちょう ぜんかい ぎ じろ く かくにん じむきょく ねが
【曽根会長】 では、前回の議事録の確認について、事務局からお願いします。

じむきょく ぜんかい ぎ じろ く かくにん じ ぜん おく ぎ じろ く
【事務局】 それでは、前回の議事録の確認をいたします。事前に送らせていただきましたが、議事録について

か ひつ しゅうせい ひつよう かしよ
加筆や修正など、必要な箇所はございましたでしょうか。よろしいでしょうか。

ぎ じろ く ないよう けいさい
ありがとうございます。では、議事録につきましては、この内容でホームページに掲載させていただきます。

まいかい ねが きょうしゅく ぎ じろ く さくせい おこな つごうじょう ごはつげん さい かなら きょうしゅ
また、毎回のお願いで恐縮でございますが、議事録作成を行う都合上、御発言の際には必ず挙手をしてい

かいちょう しめい あと なまえ はつげん ねが おも
ただき、会長が指名した後、お名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いしたいと思います。

つづ ほんじつ しりよう かくにん ほんじつ しりよう てん しだい いちばんうえ お
続きまして、本日の資料の確認でございます。本日の資料7点でございます。まず、次第です。一番上に置かせ

しだい まい てんめ しりよう どうじしゃ じっしちらん てんめ しりよう くにたちしけんり
いただきました次第が1枚。2点目が、資料1、当事者ヒアリング実施一覧です。3点目が、資料2、国立市権利

ようごしえんすいしんけいかくさくてい せんもんしよくどう ちょうさけっか てんめ しりよう くにたちしけんりようごしえん
擁護支援推進計画策定のための専門職等アンケート調査結果です。4点目が、資料3、国立市権利擁護支援

すいしんけいかくさくてい しないじぎょうしよ ちょうさけっか てんめ しりよう いし けっていしえん だいじ
推進計画策定のための市内事業所アンケート調査結果です。5点目が、資料4、意思決定支援に大事なこと。

てんめ さんこうしりよう くにたちしけんりようごしえんすいしんけいかく だい てんめ
6点目が、参考資料としてつけさせていだきました国立市権利擁護支援推進計画（たたき台）です。7点目

さんこうしりよう こうせいろどうしやう だ らい ふ しりよう
が、参考資料2ということで、厚生労働省が出しておりますLIFEという資料をつけさせていただいております。

しりよう た いいん かた きょうしゅ ねが
資料が足りない委員の方がいらっしゃいましたら挙手をお願いいたします。いらっしゃいますでしょうか。あり

がとうございます。

じむきょく いじよう
事務局からは以上でございます。

そ ね かいちょう しだい そ すす しだい およ けっか
【曽根会長】 では、次第に沿って進めさせていただきます。次第1、ヒアリング及びアンケートの結果につい

て。ヒアリングとアンケート、それぞれ項目を設定して4月に実施ということでした。その後の結果を事務局から

説明をお願いいたします。

【事務局】 それでは、事務局より説明をさせていただきます。まず、資料1を御覧ください。ヒアリングにつきま

して、4月より順次日程を調整して実施してまいりました。5つのヒアリング先のうち、4つが終了しております。

もう1つ、かたつむりさんにつきましては、今後調整がつき次第、実施していく予定でございます。

続きまして、アンケート調査についてでございます。専門職及び市内事業所の方に、令和7年4月4日から25

日までの間でアンケートを実施させていただきました。結果につきましては、資料2と資料3のとおりとなって

おります。事前に送らせていただいておりますので、一応御確認いただいているという前提で今回を迎えており

ますけれども、アンケート結果の中で、いろいろ専門職の方や事業所の方から意見等も出ておりますので、

計画に取り入れたい内容ですとか、参考にしたい点等があれば、その点も含めて、後ほど御議論の時間をつ

くりたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

事務局からは以上です。

【曾根会長】 最初に、ヒアリングについて、それぞれヒアリングに行っていたから方から、感想、御報告

をしていただきたいと思います。資料1に記載の順番で御報告をお願いしたいと思います。

最初に、井上さんからよろしいでしょうか。ヒアリングの感想、御報告。

【井上委員】 4月22日火曜日、老人福祉センター、ヒアリングに行きました。名前は秘密です。80歳です。

私は質問をしました。昭和のCMは何が好きですか。カステラー番です。私は、キンカンの歌、タケモトピア

ノ、明治のカール、救心ソングのCMが好きです。

しつもん ひとりぐ りぐ ひとりぐ けっこん し
質問、一人暮らしですか。2人暮らしだったけれども、一人暮らしです。結婚していたけれども死んじゃった。

ひとりぐ さび いま にちじょうじかん じぶん じかん り さび しょくじ
一人暮らしになったときは寂しかったです。今は、日常時間、自分の時間、1人が寂しいのは、食事のときです。

わたし しせつ はい い にちじょうじかん せいかつ
私は施設に入りたくありませんと言いました。日常時間、生活をしています。

いのうえ りょうり き まーぼはるさめ つく い
井上さんは、お料理をしますかと聞かれました。麻婆春雨を作りますと言いました。

質問3、地域の暮らし、大変なことがありますか。大変なこと、ほとんどないです。助け合えています。御近所さ

んが80歳から90歳。さい さい くら よる でんき つか でんわ ぐあい わる か もの
暗い夜、電気が使えなかったら電話がくる、具合が悪いときに、おかずとか、お買い物

してくれる、御近所さんにLINEをしている。

しつもん ちいき く せいかつ つづ ちいきせいかつ
質問4、地域の暮らし、生活を続けたいですか。地域生活をしたいです。

い あ くにたち きんじよなかよ り た さび としよ ほいくえん
行き当たりばったりです。国立のいいところは、近所仲良し、1人で食べるのが寂しいから、年寄りの保育園、

だれ あ ひと ぼしょ ほ
誰かと会える、独りぼっちじゃない場所が欲しいです。

かんそう はなし がんば
感想、話をするのを頑張った。

【曽根会長】 そ ね かいちょう ろうじんふくし いじょう けっこうちいき かた たす あ せいかつ
老人福祉センターは以上です。結構地域の方で助け合って生活ができていうことで、

しょくじ さび
食事が寂しいということですね。ありがとうございました。

つづ こやまいん
続いて、小山委員。

【小山委員】 こやまいん いのうえ だいたいいま はな ろうじんふくし だい じよせい かた り
井上さんが大体今お話ししてくださったので、老人福祉センターの80代の女性の方に、2人で

インタビューしました。いのうえ しょうわ しーえむ し かた わたし おどろ
井上さんが昭和のCMをすごく知っているの、その方と私は驚いていました。そんな

ふる なん し
古いの、何で知っているんだろうと。

ちいき なか かつどう かつどう いま かた わり
地域の中で、いろいろなサークル活動とかボランティア活動とかを今までもされてきた方で、割としっかりし

ていらっしゃるんですけども、でも、やっぱり一人で、人生の中で自分一人で決めるということをやってくる中

で、何か 傍らで相談できる人がいたりしたらよかったかなみたいなことも漏らされていたのが非常に印象的

でした。付け加えは以上です。

【曽根会長】 相談できる人がいるとよかったということですね。

続いて、林さん、どうぞ。

【林瑞哉委員】 私は、福祉センターに通っている77歳の男性の方のヒアリングをしました。

現在、団地に一人暮らしというところで、今年、北海道から国立に転居したばかりの方でした。印象的にはす

ごくしっかりしているなと思いました。ちょっと幾つか質問をして、これまでの人生で特に印象に残っていること

は、御本人からは、恥ずかしながら離婚経験があるというところ、あとは、腰痛があるということで、ちょっと

不便な北海道から、条件としては、プールがある、図書館がある、駅まで10分以内の場所というところを探し

たら国立の団地がヒットしたということで、不動産を売却して思い切って転居したという決断があったというこ

ろです。今はそれを日課にして過ごしていくということです。

どのように自己選択しているかというところでは、子どもに絡むことは子どもに相談して、ほかは全て自分で

考えて決めていると。自分で決めたことは自己責任なのでポジティブに捉えているということで、先のことま

で考えていまして、もし自分が介護が必要になったら、家族介護というのはもうとんでもないと。自分も家族も

つらい思いをするだけだというところまで 考えていました。あとは、今まで一番助けになった支援は、高額

医療費の制度とか失業保険、要はお金に絡むことは助かったかなということで、本当にしっかりと先まで考

えていた人だなという印象が残りました。

【曽根会長】^{そ ね かいちょう} ありがとうございます。

^{つづ} 続きまして、^{かなざわ} 金澤さん。

【金澤委員】^{かなざわ い いん いま はやし はな わたし おな せき はなし うかが} 今、林さんがほとんどお話ししてくださったんですけれども、私も同じ席でお話を伺いました。

^{ご じ しん} 御自身のこれまでの人生においてのいろんなことをいろいろ教えてくださったんですけれども、^{ひじょう けわ} 非常に険しい、

^{こんなん ことがら} 困難な事柄があって、でも、それをすごく上手に乗り越えていらっしゃったというふうに私は思いました。何でそ

んなふうに見えるんですかと質問したところ、もう自分が今その場に置かれたんだから、今その条件で何がし

^{なに} たいのか、何ができるのか、そして3年後の自分はどうしたいのかということを ^{かんが} 考 えて、自分はあまり人に相談

^{じぶん なか いちばんごうりてき} せずに、自分の中で一番合理的でうまくいくことを選ぶ。その選んだ結果、^{えら えら けっか たす} 助けてもらえることは、家族とか

^{せいど} 制度とか、^{たす} どんどん助けてもらうんだっておっしゃっていました。すごく御立派な方で、とても私は、まねできる

^{おも かえ} かなという思いで帰ってきました。

【曽根会長】^{そ ね かいちょう} ありがとうございます。人生の生き方講座を聞きにいったみたいなヒアリングですね。^{じんせい い かたこうざ き}

^{つづ} 続いて、^{えん い} くにたち苑に行かれた、まず、^{はやし} 林さん、どうぞ。

【林大樹委員】^{はやしひろき いん いのうえはる な いっしょ えん い とくよう にゆうきよ} 井上晴菜さんと一緒に、くにたち苑に行きました。特養に入居されている88歳の女性の方の

^{はなし うかが} お話を伺いました。

^{かた きよねん がつころ にゆうきよ} その方は、去年の8月頃に入居されたようなので、まだ1年たっていないんですけれども、^{ねん} 車椅子に乗ってヒ

^{へ や} アリングする部屋までいらっしゃいましたが、とても元気で、^{げん き} はきはきと ^{こた} お答えになって、^み 見たところ ^{とくよう にゆうきよ} 特養に入居

^{かん} されるような感じではないのかなと思ったのですが、^{おも} いろいろありまして、^{ねん} 2年ぐらい前から ^{まえ} けがが ^{つづ} 続いたんで

^{かた こっせつ にゆういん} すね。肩の骨折で入院して、それから ^{だいたいこつ} 大腿骨だと思んですが、^{おも} 足の骨折でまた ^{あし こっせつ} というので、^{にゆういん} 入院、それから

いえ もど にゆういん びやういん がつ く
家に戻って、また入院ということを、病院のほうも2か月までしかいられないみたいなので、そういうことを繰り返

かえ せいかつ つづ かぞく だんな なんねん まえ な こ おとこ こ
返す生活が続いていたんですね。家族は、旦那さんは何年か前にもう亡くなられていて、お子さんは、男の子

おんな こ おとな おんな こ ざんねん にん
と女の子がいたんですが、どっちも大人ですが、女の子のお子さんは残念なことに3人いらしたんですが、もう3

にん な むすこ
人ともお亡くなりになって、息子さんがいるということなんです。

そうこうしているうちに、ちょっと目も見えなくなってきて、一人暮らしがちょっと難しくなってきたということで、

むすこ とくよう にゆうきょ ていあん とく じよせい とくよう にゆうきょ いけん
息子さんが特養に入居するということを提案されて、特にこの女性は特養に入居することについて意見はな

かったようなんですが、ちょっとそのあたりがどういう意思決定されたのかというのが分かればいいなと思って

き じぶん なに わ ぜんぶ むすこ まか
聞こうとしたんですが、自分では何も分からなくなって、全部息子さんに任せたというようなことをおっしゃって

いました。

けい い とくよう にゆうきょ いま とくよう なか たの なか ゆうじん い かた ちが
そういう経緯で特養に入居されて、今、特養の中ではとても楽しく、仲のよい友人という言い方は違うのかも

とくよう にゆうきょ なか ひと たの ほんとう かた あ
しれないんですが、特養に入居されている仲のよい人がいて、楽しくやっていると。ただ、本当はその方は編み

もの しゃみせん おど しゅみ むかし じたく しゅみ も とくよう あ
物とか三味線とか踊りとかの趣味があったそうなんですが、昔は自宅でそういう趣味を持って、特養でも編み

もの
物とかができたらいいけれども、ちょっと目が悪くなってできなくなっていると。だから、おしゃべりだけが、だけ

い ばん たの まんぞく
じゃないかもしれないけれども、おしゃべりをするのが一番の楽しみだということで、満足されているようです。

い きら ひと い かた き あ ひと なか
ただ、と言いながら、嫌いな人ははねのけるみたい言い方をされていて、だから、気の合う人とは仲よくでき

い み とくようせい かつ まんぞく むかし なか よ
ていて、そういう意味で特養生活は満足されているんですが、昔はみんなと仲良くしなければいけないのかな

おも いま ひつよう おも きら ひと
と思ったときもあるみたいなんですが、でも、もう今さらそういうことをする必要はないと思ったのか、嫌いな人

べつ はなし わ き おも
は別に話もしないということで、そういう割り切りというのができているのでいいのかなとも思いました。

ということで、大変^{たいへん}楽しいお^お話^{はなし}ができてよかったです。

【曾根^{そね}会長^{かいちょう}】ありがとうございました。一人^{ひとり}になってからどう生きるかというのが、私^{わたし}もこれからの課題^{かだい}なんだなとひしひしと感^{かん}じました。

では、井上^{いのうえ}さん、お願^{ねが}いします。

【井上^{いのうえ}委員^{いん}】くにたち苑^{えん}のヒアリング^{ほうこく}の報告^{がつ}、5月26日月曜日^{にちげつようび}、くにたち苑^{えん}にヒアリング^いに行きました。私^{わたし}と

介護^{かいご}者の小鷹^{こたか}さん、林大樹^{はやしひろき}さんがいました。同じようにヒアリング^{おな}をしました。くにたち苑^{えん}に住^すんでいる88歳^{さい}の

おんな ひと
女^{おんな}の人^{ひと}にヒアリング^いをしました。

しつもん なまえ おし
質問^{しつもん}、名前^{なまえ}を教^{おし}えてください。

1、いつからくにたち苑^{えん}に入^{はい}っていますか。答^{こた}え、名前^{なまえ}はこ^いこでは言^いいません。いつくにたち苑^{えん}に入^{はい}ったか教^{おし}えてもらいました。いつ入^{はい}ったか忘^{わす}れちゃったと言^いっていました。

しょうわ うた し
昭和^{しょうわ}の歌^{うた}、知^しっていますか。答^{こた}え、昭和^{しょうわ}の歌^{うた}、知^しっています、歌^{うた}が好^すきです。「東京^{とうきょう}ブギウギ^し」を知^しっていました。

しつもん えん はい
質問^{しつもん}3、くにたち苑^{えん}に入^{はい}ってどうでしたか、困^{こま}っていることはあります^{こた}か。答^{こま}え、困^{こま}っていることはな^{かぞく}い^いです。家族^{かぞく}にもっと会^あいたいです。ちよ^くっと悔^{じゆう}しいです。自由^{さび}だけれども、ちよ^{さび}っと寂^{さび}しいんです。

しつもん
質問^{しつもん}を3つしました。ヒアリング^{とうじしゃ}、どきどきしました。当事^{ひと}者の人^{こま}は、困^いっていること、ないですと言^いっていま

しつもん
た。でも、私^{わたし}は施設^{しせつ}に入^{はい}りたくありません。おじいさん、おばあさん^{しせつ}は施設^{はい}に入^{こま}るのは困^{ひとりぐ}ります。一人^{ひとりぐ}暮らしをし

てほしいです。でも、介護^{かいご}者がい^{むづか}ないと難^{しやうわ}しいです。ヒアリング^{うた}、昭和^{とうきょう}の歌^{はなし}、東京^{とうきょう}ブギウギ^{はなし}の話を^{はなし}しました。

しせつ かぞく
施設^{しせつ}か家族^{かぞく}のど^{しせつ}ちか、施設^{かぞく}にな^{しせつ}っちゃう。家族^{しせつ}か、施設^{しせつ}か、ど^いちらかだよと言^いってほしくな^{いや}い^{いや}です。ど^いっちも嫌^{いや}

です。補足があります。

御本人は、施設にはいるとか、家族のところも嫌だという思いがあって、ヒアリングに行くまで現地に行くまで

結構悩みながら、でも、実際問題、結構貴重な機会だからということで、国しよう協のみんなの励ましもあって

行ったんですけども、その後やっぱり御本人の話聞いて、息子さんと話して、御本人的には、住みづら

いうちに住むか、家族と一緒に住むか、施設に住むか、入院するかという非常に厳しい状況だったんだとい

うことを聞いて、その後、介護者と一緒に理解して、家族というのは困るねと。家族のところに、自分だったらい

るのはすごくきつい。でも、施設も入りたくないということで、少し聞かせてくださった方の状況がちょっと分か

ったようでした。だから、貴重な話を聞かせてもらって、御本人なりに考えた感想でした。大変でした。

【曽根会長】 御本人は、家族と一緒に嫌だけれども。施設も嫌だというふうにおっしゃっていたということなん

ですか。井上さんの感想ですか。なるほど、分かりました。でも、家族ともう少し会いたいとおっしゃっていたと

いうことですね。

続きまして、棕櫚亭、芳賀さん、お願いします。

【芳賀委員】 なびいに、統合失調症のしょうがいを持った方とお話をしたんですけども、まず、その方は、と

ても論理的にしゃべる方で、全然しょうがいを感ぜさせない方でした。それで、生活はどうしているのかとい

ますと、不動産収入がありまして、それで、すごい働こうという意欲もないし、でも、生活の7割満足していると

いう方で、今回、意思決定支援で、自分の考えていくと、お金がないから働こうとか、そういうのを考えてい

たんですけども、今回の方のお話を聞くと、自分の生活の7割に満足していると言われて、こういう方もいる

んだなと感じました。

やっぱり陰性症状とかそういうのがあらしくて、そういうのは施設の職員に、月に何回か面談して解消して

もらっているということで、あと、金銭的な面は、兄弟の人に相談しながら決定をしているということをお伺いし

ました。それで、普段、どうやって、しゃべる人とかがいるのかと聞いたら、例えば棕櫚亭なびいのメンバーとお

話ししたりとか、あとは近所に昔から知り合いがいるということで、世間話はそこでしていると言っていました。

やっぱり、今回、訪問してお話して分かったんですけども、多分しょうがいを持っていてもいろんな人がい

て、いろんな考えを持っていて、どれが正解なのかというのはないんじゃないかと。意思決定を尊重すると、

複数のケースが考えられるのかなと思って。押しつけることは難しいなと私は感じました。

【曽根会長】経済的に安定しているということが大事ということなんですかね。

【芳賀委員】金銭的な額は聞いていないから、細かいことまでは分からないですけども、生活が7割満足

しているということは、普通の人でも7割満足していたら十分なのかなと私は感じました。

【曽根会長】7割、そうですか。分かりました。

続きまして、成年後見ウィルに行かれた横田さん。

【横田委員】こちらの方は、70代の男性の方でした。成年後見ウィルなので、成年後見制度の保佐人がつい

ている方でございます。グループホームに入っておりますが、このグループホームは、いわゆるアパート型のグ

ループホームで、食事はそのアパートの中の一室でみんなで食べるというような形で、基本的には、トイレ、

台所がついたお部屋で1人で過ごされている方でした。

ちょっとすごく印象的だったのが、この方はいろいろ精神病を患いながらお仕事されて、それから病院に

入院したりの間歴がある方なんですけれども、その節目節目のところで、御本人で結構選択して、自分で

やくしょ そうだん い かたち しやくしょ しえんしゃ かた じょうず つか
役所に相談に行ったりとか、そういう形でうまく市役所とか、あと支援者の方を上手に使えているなという

いんしょう ひじょう う れきし はなし き
印象を非常に受けました。そういった歴史を、お話を聞かせていただきました。

いま ほさにん かんけい なか ごじしん かだい かね つか す ごじしん
今、保佐人との関係の中では、御自身の課題として、お金を使い過ぎてしまうというのは御自身でおっしゃっ

ていまして、そこをうまく保佐人さんにやってもらうというところも、きちっと言葉でお話しされておりました。

そ ね かいちょう ほさにん じ こ けつてい せいかつ かた
【曽根会長】 ありがとうございます。保佐人がついているとはいえ、かなり自己決定して生活されている方

ということによろしいですかね。

やまじ
じゃ、山地さん。

やまじ いん ほうもん はなし き はじ き
【山地委員】 訪問したときに、いや、話を聞いていないよみたいなどころから始まったので、だけれども、聞いて

ていないよと言ったけれども、私たちが行ったら、こんな用意をしているからどうぞどうぞという、そうやって

ごじたく なか い ほんとう し ひと いえ はい じたい
御自宅の中に入れていただきました。もうそれだけでも、本当に知らない人が家に入ること自体がどう

なんだろうと思っていたんですけれども、とても迎えてくださって、自分の過去の話をしごくおっしゃって、こちら

ねっしん き き はなし くわ はなし
が熱心に聞けば聞くほど、その話はとても詳しい話になっていました。

なんかい にゅういん かね こま なんかい く かせ
何回も入院したこととか、お金に困ってしまうようなハプニングが何回か繰り返されたりしたこととか、もうち

つ こ はなし き しょうたいめん かな けいやく
よっと突っ込んで話を聞いてみたかったんですけれども、なかなかそういうことが初対面で叶わなくて、契約し

ほんとう おも いまげんざい せいかつ ほ ご く
ていて本当にどう思っているんだろうみたいなどころとか、今現在、生活保護で暮らしていらっしゃるので、その

なか く なんかい ほんにん いまかん
中でやり繰り返ることとかというの、何回かうまいかなかったという、本人がどんなふうに今感じているのか

すこ き げんかい わたし おも びょうき つ あ
なというのはもう少し聞けたらよかったんですが、ちょっと限界かなと私は思いましたし、病気との付き合いも

ねん ねん なが かた せいしん かた く あんしん あんぜん
16年、17年と長い方なので、やはり精神しょうがいのある方の暮らしを、どう安心して、安全にしていこうかとい

うところの意思決定のあたりというのは、やっぱりとても難しかったんじゃないかなと。簡単に言うと、失敗みた

いなことが御本人の中にも刻まれているような、でも、それは明るく話されたり、つらいことも、御自身からきち

んと話せたりという、今ではということなんでしょうけれども、そういう話ができるということ自体がすごいなど

おも
思っきて聞かせていただきました。

【曽根会長】 ありがとうございけっこうました。結構ヒアリングに行いった先で、皆さんいろなことを教おしえてくださっみなたん

ですね。なかなか普通ふつうの生活せいかつの中なかでは聞きけないようなことを皆さんお聞みなきになっきたんだなということも感かんじま

したし、あと、いろいろあっても、結構、挽回けっこう ばんかいできるというか、あるときにはうまくいごかなくても、その後、またそれ

がうまくいくようになったりとかというのがやっぱり人生なんだなということを正直感しょうじきかんじました。

あと、かたつむりさんは、まだ日程調整中にっていちようせいちゆうで行いかれていごほうこくませんので、またヒアリングができたら、御報告でき

たらと思おもいます。

一応いちおう、これでヒアリングに参加さんかした方かたの御報告は以上で大丈夫でしょうか。ほかにヒアリングに参加さんかした方

で、まだ御報告ごほうこくのない方かたはいらっしゃいますか。大丈夫ですか。

ありがとうございふんました。そうしたら、ここでグループごといまに20分ぐけっからい、今のヒアリングの結果をお聞ききにな

った振り返りふといかえいますか、この中なかで計けいかく画とに取り入いれたり、参さんこう考こうにしたいなというところについて、少しお話し

ただいあとて、その後、グループごとはっぴようにそのポイントを発表おもしていただこうと思ねがいますので、よろしく願ねがいます。

かく いけんこうかん
(各グループでの意見交換)

【曽根会長】 それでは、話合はなしあいでどごいけんんな御意見でが出たか、報告ほうこくをお願ねがいしたいと思おもいます。

そうしたら、こちらねがのグループから願ねがいます。

あきの いいん ぎろん かんそう の あ かん で はなし わたし
【秋野委員】 議論というよりは、感想を述べ合ったというふうな感じてしたけれども、出た話としては、私の

いんしょう はなし こんかい はなし かたがた ぐたいてき
印象の話 をちょっとさせていただいたのは、今回のヒアリングでお話をいただいた方々の具体的なエピソード

き けっこう ごじしん い し けってい い かた こんかい
ドをお聞きして、結構しっかりと御自身で意思決定をされながら生きてこられた方が今回のヒアリングの

どうじしゃ かた き かた おお いんしょう う りっぱ いんしょう う
当事者の方、お聞きした方には多かったなという印象を受けました。立派だなという印象を受けました。それと

どうじ あたま おも い し けってい かた い し けってい ばめん
同時に、ふと頭に思いついたのは、意思決定をきちっとできる方にとっては、意思決定の場面はクリアにはっき

み ごじしん じぶん き むづか かた い し ひょうめい むづか かた
り見えるけれども、御自身でなかなか自分のことを決めるのが難しい方とか、そもそも意思表明が難しい方

い し けってい ばめん み しえんしゃ い し けってい ばめん とら
の意思決定の場面は、見えるものではないので、支援者のほうできちっとその意思決定の場面を捉えていく

ひつよう たか むづか かん
必要がすごく高いなと。それはすごく難しいなというのを感じました。

い し けってい ばめん い し けってい しえん ていど かんが かた はいけい
意思決定の場面で、どう意思決定の支援をしていくかというあたりは、ある程度、考え方とか背景だったも

のができてきているのかなと思うんですけれども、その手前の意思決定場面を捉える、的確に捉えることとい

うのは、どうしたらいいのかという体系だったものもまだないと思いますし、それぞれの支援者の力量が試され

ばめん かん はなし
る場面なんじゃないかなというふうなことを感じて、そんなお話をさせていただきました。

つぎ はなし ほっかいどう くにたち うつ す かた ほっかいどう ごじたく しょぶん
それから、次の話としてあったのは北海道から国立に移り住まれた方、北海道の御自宅を処分して、それま

えん おも くにたち ひとり うつ す かた
では縁もゆかりもないということだったと思うんですけれども、国立のほうにお一人で移り住まれたという方

ほっかいどう じたく しょぶん くにたち い し けってい かた まわ かた かか
の、北海道の自宅を処分して国立にという意思決定をしたときに、その方の周りの方はどんなふうに関わって

き かんそう ごじしん おお おお い し けってい
いたのかなというところが気になったという感想もありました。御自身にとって、大きな大きな意思決定をした

ばめん おも まわ かた かか き かんそう
場面だと思うんですけれども、そこに周りの方がどんなふうに関わったのか聞いてみたかったという感想もあ

りました。

あともう一つの感想としては、今回のヒアリングでお話を伺った方の中には、後見類型とか、そういった意思

表明がなかなか難しい方というのは、今回のヒアリングの当事者の方にはいらっしやらなかったのかなという

感想もあって、今回のこの計画を考える上では、そういった意思表示が難しい方のことをちゃんと念頭に置

きながら、この計画を考えなきゃいけないですねという感想もあったところです。

このテーブルでは大体そんな話がありました。

【曽根会長】ありがとうございました。意思決定場面をどう捉えるかという、確かに。

それでは、金澤さん、井上さん、山地さんのグループはいかがでしょう。

【井上委員】よろしくお願いします。

【山地委員】もう少し詳しい話を、聞き取りに行かれた方の詳しい話をもう少し聞かせていただきました。

井上さんの話で印象的だったのは、おばあさんの話を聞きながら、御自分の意思というか、私はこうしたい

みたいなことがそのヒアリングの場面で出てきたんだということと、行き当たりばったりという言葉を引き出

しておられて、本当に行き当たりばったりだったらそんなこと言わないんだと思うんですね。行き当たりばったり

という表現の仕方が、いろんなことがあるけれども、その場で決めてきたんだというような、そこに表れている

ように思えて、詳しく聞かせてもらいました。

もう一方、金澤さんのほうは、北海道から出てこられてという、もうパワフルでもあるし、国立に引っ越してくる

というか、自分の故郷を離れるという決断をすることであるとか、そこを楽しく生きていくというようなことにつ

いて、できているとても優秀な方が、きっとそういう方だったんじゃないかという話がありましたし、私のほうで

も、とてもきれいなお話だったんだけど、私のところの方は、本当にどう思っているのかということをもう

すこ き わ どうこうしつちょうしょう も かた なんかい かね
少し聞かないと分からないなということとか、統合失調症を持っている方でしたけれども、やっぱり何回もお金

がなくなっちゃうハプニングが、どういうふうに保佐人さんに関わってもらって、今の生活をいいと思っているの

か、そうじゃないと思っているのかというあたりは、ちょっとはてなというふうに思えることを、その後、同席をして

いただいた計画相談の方がちらっと言っているのを小耳に挟んだので、そうだよなというふうになずくところ

もありましたという話をしました。

【曽根会長】 ありがとうございます。井上さんは、ヒアリングした相手のお話を聞くことによって、自分の

意思がより明確になったということだったんですかね。あと、やっぱりもうちょっと時間をかけてというか、回数も

合わないというのもあるかもしれませんが、そうしないと本当にどう思っているのかというのは分から

ないなという、そういう感じですかね。

そちらの林さんたちのグループ。

【小山委員】 最初に、井上さんと私が4月22日にインタビューをした人は、さっきは言わなかったんですけれ

ども、人生の最大の決めたことは夜逃げだったと、夜逃げの話を延々と聞かせてくれたんです。さっきの

林先生の施設入所の話とか、私が聞いた話とかも含めて、今回、意思決定支援と言うけれども、全く1人で

それを決めてきたわけではなくて、逆に1人で決めることの難しさとか、そういったこととかをすごく感じるよね

という話を、このグループの中では1つしてきました。同時に、やっぱり初めてヒアリングする人にどこまで聞け

るのかみたいなところの難しさというの、改めて感じるよねという話をしたところがあります。

あと、お聞きした方が高齢の方なので、もう少しいろいろな世代の方から話を聞いたら、意思決定というもの

の意味合いがもう少し広がっていくんじゃないかなという話もされました。

【曽根会長】 ありがとうございます。人生最大の決定は夜逃げという、そこに多分、相談する人がいたら止

めたかもしれないですね。でも、やっぱりそうやって、本人側の決定って、相当受け止める幅が広くないと

駄目なんだなと改めて感じました。あと、初めての人のどこまで聞けるのかというのはやっぱりあると思いま

す。だから、結構時間をかけるということも重要だということでしょうか。

こちらのグループは、どなたが。

【横田委員】 こちらのグループは、芳賀さんのほうから、インタビューをして、ヒアリングをしたときに、すごくい

ろんな生き方とか考え方があって、芳賀さん自身の価値観が少し揺さ

ぶられるようなことがあるとお話しいただきました。例えばお仕事をしていなくても、自分の生活にもう7割以上

幸せを感じると。それは、本当にそういう生き方もあるんだなというところを芳賀さんはすごく感じられたとおっ

しられておりました。

それに合わせて、そういった多様な価値観、こういったものが実は非常に意思決定支援を阻害している部分

があります。こうあるべきだと、生活はこうじゃなきゃいけないとか、働かなきゃいけないとか、そういったところ

で実際差別とかで苦しむ方が多いという中で、意思決定支援というのは、支援者のための意思決定支援の

話ではないと思うんですね。その方が住むその地域の人たち、市民がみんなそういう権利擁護とか意思決定

支援というのをしっかりやっぱり考えていないと、すごく住みづらい地域になってしまう。

今回は、市民向けにそういうものを出すのであって専門職とか支援者向けのものではないと思っています。

ですから、支援者のための意思決定支援ではなくて、市民が、みんながそういうことを考えられるような意思

決定支援、多様な考え方をきちんと受け入れてもらう。そういったところをやはりきちんとカバーしていく必要

があるのではないかなという話を何となく全体でしました。

【曾根会長】 ありがとうございます。ちょっとだけ補足させていただくと、精神しょうがいということで、病氣

への差別とか偏見があって少し生きづらいんだというようなお話もあったということなので、だから、本人の

意思決定を尊重するのはもちろんなんでしょうけれども、そういった社会の側が本人の選択を狭めているとい

うことも、両方見ていかないといけないのかなというのと、あと、結局、今回は意思決定支援と思って皆さん行

ったわけではないのに、結構いろんなことを相手の方が話してくださっていて、だから、そういうスタンスが結構

大事なのかなと思って、評価を交えずにニュートラルに聞くといいですか、そういった姿勢で話を聞くというの

がすごく重要なのかなということも、ちょっと私は感じました。

結構、これからの計画の中で生かしていけそうな御意見がたくさん出たなと思いましたので、あとは事務局

にしっかりとこれを生かしていただくと。

続きまして、アンケート調査ですね。まず、事務局から御説明お願いいたします。

【事務局】 アンケート調査につきましては、お手元に、資料2、資料3という形で配付させていただいておりま

す。あくまでアンケート調査ということで、一つ一つ御説明するところではないんですけれども、事前に見てい

ただいた方は、結構様々な意見があるなとか、この意見は違うなと思うこともあったかなと思います。この中で

取り入れたい考え方であるとか、こういう施策はやったほうがいいよねみたいなのを今後の議論の参考

にしていいただければと思います。

今日、これを全部皆さんから御意見を頂戴したりとか、皆さんと話し合ってくださいとちょっと時間が足りない

なと思いますので、現時点で、この調査結果をお読みになって、ここをちょっとぜひ事務局に取り入れてほしい

とか、計画に書いてほしいというものがありましたら、一旦この場でお話を伺って、かつ、もしよろしければ、

後日でも結構ですので、メールで頂戴できればと思います。

【曽根会長】 ありがとうございます。さっきのところで、アンケートも含めて意見交換ができればよかったです

すね。失礼しました。

では、アンケートについては、御意見があったら、後で事務局にお知らせいただくということでよろしいでしょ

うか。

続いて、意思決定支援について、御説明をお願いいたします。

【事務局】 では、事務局より御説明させていただきます。意思決定支援について、前回の審議会の際に、こち

らから御提示させていただいて、皆様から御意見をいただきました。再度、事務局で作成いたしましたので、

資料4、意思決定支援に大事なことという、1枚ペラのものを御覧いただければと思います。

まず、6つの項目を作成いたしまして、①すべての人の意思があるという前提にたつて支援を開始する、②そ

の時実行可能なあらゆる支援をしつづ、③他人には不合理と思われる決定でも尊重される権利がある、④

キーパーソンは常に本人(本人をよく知る人が支援チームに入る)の①から④につきましては、参考資料2で

つけさせていただきました厚生労働省が作りしましたLIFEという資料の16ページと17ページを参考として

記載させていただいております。④について、キーパーソンは常に本人と、断定系で前回お示しさせていただ

いたんですけれども、議論の中で、本人だけじゃなくて、本人をよく知る人が支援チームに入るということも

大切じゃないかという御意見がございましたので、ここに入れさせていただいております。

⑤と⑥につきましては国立市オリジナルといいますが、事務局で検討して書かせていただいた内容でござい

ます。読^よませていただきますと、⑤本人^{ほんにん}が自分^{じぶん}の意思^{いし}を自分^{じぶん}の人生^{じんせい}に反映^{はんえい}できているか（チョイス & コントロ
ール）、そう実感^{じっかん}できているか、⑥本人^{ほんにん}が自^{みづか}らの人生^{じんせい}の主人公^{しゅじんこう}になるための「エンパワメント」ということを入
れさせていただきます。

この大事^{だいじ}なことというのがどういうふう^{けいかく}に計画^{はんえい}に反映^{きょう}されるかですけれども、今日^{きょう}、参考資料^{さんこうしりょう}Ⅰでつけさせて
いただきました計画^{けいかく}のたたき台^{だい}の6ページ^{ごらん}を御覧^{おも}いただければと思います。後^{のち}ほどたたき台^{だい}を簡単^{かんたん}に御説明^{ごせつめい}
させていただきます^{おも}と思いますが、②の意思決定支援^{いし けつていしえん}についてというところに、この大事^{だいじ}なことというのを、
国立市^{くにたちし}が大事^{だいじ}にしている考^{かんが}え方^{かた}を入れ^いらせていただいて、ここ^むに向かって計画^{けいかく}をつくっていくんだということ
を、ちょっと書^かかせていただきたいと思^{おも}っております。

今^{いま}、事務局^{じむきょく}から提示^{ていじ}させていただいた6項目^{こうもく}を入れておりますけれども、委員^{いいん}の皆さん^{みな}で話し^{はな}いただく中^{なか}
で、増^ふえても減^へってもいいかなというふう^{おも}に思^{おも}っておりますので、こちら^こについてぜひグルー^ごープごとに御議論^{ぎぎろん}い
ただきたいと思^{おも}っております。

事務局^{じむきょく}からは以上^{いじょう}です。

【曽根会長^{そ ね かいちょう}】 ありがとうございました。参考資料^{さんこうしりょう}のどこを見^みればいいですか。

【事務局^{じむきょく}】 6ページです。6ページに、②意思決定支援^{いし けつていしえん}についてというページ^{おも}があらうかと思^{おも}いまして、その中^{なか}
に文章^{ぶんしょう}として入^{はい}っているのを見^みづらいと思^{おも}うので、書き方^かは考^{かんが}えたいと思^{おも}いますが、そこ^{こうもく}に6項目^{いまい}、今入^いってお
ります。

【曽根会長^{そ ね かいちょう}】 ありがとうございました。

そうしたら、6項目^{こうもく}について、まずグルー^{はな}ープごとに話^ごしていただいて、その後^ご、またグルー^{いけん}ープからの意見^{ねが}をお願い

いしたいとおもいます。

(各グループで情報交換)

【曽根会長】では、池田さん。

【池田委員】結構、資料を読んでいる時間が長かったですけれども、自己効力感という言葉が途中で出て

きているんですね。ちょっと難しい言葉が使われていたりするかなというところを、皆さんで一度見てみて、

説明が必要だったりとか、丁寧に書くみたいなのところはやってもいいのかなというのが出たのと、あと、すごく

難しいことが書いてあると思うので、正解とかということよりは、私とかは、どうしてもそういう意思決定支援と

か、後見業務に携わる立場なので、これをどうやって実践に転換できるかという視点で考えてしまうので、あ

まりここに書いてある内容によって排除されたりとか、自分には関係ないことだと感じない内容になるといいな

ということを、ちょっとお話していました。

【曽根会長】ありがとうございました。とにかく言葉が難しいということですね。

次は、金澤さん、井上さん、山地さん。

【井上委員】意思決定支援に大事なこと、国しょう協で話をしました。養護学校をやめる前は、嫌だけどやめ

ますと言えませんでした。養護学校をやめますと言いたいです。子どもたち、地域で自立生活できるとあってほ

しいです。フルインクルーシブ教育が必要です。補足があります。

今の井上さんの意見は、意思決定支援に大事なことという資料には関係なしにちょっと考えられた部分な

んですけれども、井上さんの過去、経緯としまして、以前、小学校時代に養護学校に通っていたけれども、その

養護学校をやめたいと思っていたけれども、やめたいということを口に出して言うことがなかなかできなかつ

た。養護学校をやめたいという言葉が言えたのが大分後になってからだという経験がありまして、それが、子ども

もの頃、養護学校という生活環境、社会しか知らない状態で養護学校をやめるという選択肢がそもそも頭に

浮かんでこないという環境の中にいたからというものがあるのではないかと思います。

そういう経験があるので、幼少期に広い社会に触れているという、いろんな経験を自分の中で持っている

ということが、将来、自分の選択肢とか、意思をつくれる力というものに関わってくるという点で、子どもから、

意思形成支援という資料の中に出てきた言葉がすごく大事になってくるという話をしました。

また、子どもたちに地域で自立生活できるようになると思っていますというところで、地域で自立生活を

して、自分の意思をちゃんと自分で決められるという、そういう自立生活している環境に行くというその考えに

至るには、幼少期の経験が重要になってくるし、その経験を積むためには、養護学校とかで、しょうがいを持っ

ている自分で意思をつくれる能力がないと思わせている人が、分かれて学校に行くのではなく、みんなと同じ

場所で、同じ学校に行って、いろんな経験をする必要があるという意見を井上さんはおっしゃられていまし

た。

【金澤委員】井上さんの話を伺っていて、意思決定支援に大事なことという、この6項目について話をする

時間が実はなかったんですけども、意思決定支援のたたき台の中に、本人に意思を形成するのに必要な

情報を提供すること、本人が理解できるよう分かりやすい言葉や文字などで、適切な方法で説明することなど

が、その対象は、当たり前ですけども、大人だけじゃなくて子どもにも必要なんだなということですよという

話をしたのと、それを私がお話ししたんだけど、井上さんが本当に言いたいことは、情報を提供すること

という、情報の提供の仕方が、言葉なんかで話してくれても分からない、経験しないと分からない。例えば学校

も、子どもはその学校しか世界を知らなくて、そのほかに世界がある、選択肢があるなんていうことは思いもつ
かなかったということを教えてくれて、そうだなと深く思いました。対象は大人だけではなく、子どもも含めるん
だなということも、深く感じました。

【曽根会長】ありがとうございます。やっぱり選択するには体験が必要ということなんですかね。多分、カップ
ラーメンを発明されるまでは、誰もカップラーメンを食べたいなんて思ったこともなかったという、やっぱり体験
しないと得られないということですね。

次のグループの方、お願いします。

【兒玉委員】意思決定支援に大事なことの6項目を主に話をしました。そもそもこれは誰にとって大事なこと
かということを、もう一度基本に立ち返り、支援者にとっての計画なんだよねというところを、まず確認していま
す。その上で、でも、やっぱり市民の方に見ていただくに当たって、この6項目の中だけでも、例えばエンパワメ
ントと言われて、何人の人が分かるんだろうということを、やっぱり言葉が難しいと先ほど池田さんもおっしゃ
っていましたが、この6項目の中でも、既にこの言葉が果たして正確に説明ができるかなというところを
話しています。エンパワメントは、支援者も含めて、本人にも私たちも必要だなということも話しました。

あと、最初の①②③の項目、厚労省の資料から出していただいたということなんですけれども、この3項目
を、こちらで読むのと、厚労省の資料で読むのとでは印象が違うなということも話が出ていまして、チョイスし
ていただいたもののほうが、やっぱり少し言葉が強く感じるという印象を、その顕著なものが、②の「しつくす」
という言葉なんですけれども、厚労省のほうは支援を「尽くします」と書いてあるけれども、国立のほうは「しつく
す」と書いてある。すごくプレッシャーを感じるねと。その言葉で受ける印象として、例えば①も、「すべての人に

「^{い し}意思がある」で^き切ってしまってもいいんじゃないかとか、②は、しつくさなければいけないんだろうけれども、
「しつくす」と^か書かれるのはどうなんだろうか。

③は、^{そんちよう}尊重される^{けんり}権利があるということで^か書いてあるんですけども、^{はやし}林さんが^い言ってくださったんですけども、^{こうろうしょう}厚労省の^{しりよう}資料の中には^な権利という言葉が^{けんり}1つも^{ことば}出てこないけれども、^で権利があるということが^{つた}伝わってく
というところでは。そういう^{ことば}言葉の^{すこ}チョイスで、もう少し^{いんしょう}印象が^か変わってくところはあるのかなという^{はなし}話をしまし
た。

あと、③のところは、^{じぎょうしょ}事業所アンケートの^{ふくそう}ほうで、かなり^{おな}複数の^{こた}同じような^で答えが^{ほんにん}出て^{おも}いまして、^{えが}本人が^{けんり}思い描
いている^{けんり}権利と^{じっさい}実際が^{はな}かけ離れているようだと、^{かんけいしゃ}関係者や^{しえんしゃ}支援者にとって^{りふじん}理不尽に^み見える^{ほんにん}本人の^{い し}意思が
^{そんちよう}尊重しづらいという^{じっさい}実際のアンケートの^{かいどう}回答が、^みぱっと^み見ただけでも4つぐらい^{ほんとう}見つけれらるので、^{ほんとう}本当に^{すご}すご
^{むづか}く^{たいせつ}難しいけれども^{はなし}大切なところだという話をしました。

【^そ曾根^{かいちょう}会長】^{こうろうしょうしりよう}ありがとうございました。厚労省資料の^{ことば}ほうが、^{はい}言葉遣いは^{かん}入ってきやすいという^{はなし}感じですかね。
では、こちらのグループ。

【^{よこた}横田^{いん}委員】^{すみません}、もう1回。実は、^{かい}話し^{じつ}合う^{はな}前に、^あ意思^{まえ}決定^い支援^しの^いちょっと^い違和感^{わかん}というところは^ふ触れま
した。これは、やっぱり^{しみん}市民のためのものであって、^{しえんしゃ}支援者のことではないんじゃないかという^{ぜんてい}前提で^{はなし}お話を^{すす}進
めました。そうすると、これは^{ぜんぶ}全部、^{しえんしゃ}支援者が^{しゅご}主語になっているので、やはり^{しみんどうにん}市民当人が^{かんが}というところで^{かんが}考
えていくべきではないかなというところで^{はなし}話を^そしまし^{えん}た。曾根さんの^{いちばん}ほうから、一番きれいに^ままとま^ままっているので、
^そ曾根^{はっぴよう}さんに^{はっぴよう}発表していただきたい。

【^そ曾根^{かいちょう}会長】^{しゅご}主語を「^{わたし}私」としてみたらどうかということで^{すこ}少し^{はなし}話を^いしまし^{えん}た。意思決定支援に^{だいじ}大事なことを、

わたし い し そんな だいじ わたし い し
私の意思の尊重に大事なこと。①が、私には意思がある。これはどこかのグループでもおっしゃってしまし

た。②が、あなたは、^{じっこうかのう}実行可能なあらゆる手段で^{しゅだん}私の意思を理解する。③が、あなたには不合理と思われる

い し そんな けんり つね わたし わたし し ひと はい わたし
意思でも尊重される権利がある。④は、キーパーソンは常に私（私をよく知る人がチームに入る）。⑤が、私

じぶん い し わたし じんせい ほんえい じっかん わたし みずか じんせい しゅじんこう
が自分の意思を私の人生に反映できる、そう実感できる。⑥が、私が自らの人生の主人公になる。⑦が、I

こくわ わたし いけん き い し ひと い あと おも だ
個加えて、私はあなたの意見を聞いて意思をつくることもできる。これは、人が言ったことを後で思い出して、

じぶん い し だいじ おも かんが ご いけん
自分の意思として、やっぱりあれは大事だなと思って考えることもあるんじゃないかという御意見があって、I

こくわ
個加えてみました。

い し けっていしえん さぼーてっど でいしじょん めいきんぐ にほんご やく い し けっていしえん
意思決定支援は、Supported Decision Makingを日本語に訳して意思決定支援なんですけれども、

ちよくやく しえん い し けってい えいごてき ほんにん ことば ことば けいせい
直訳すると、支援された意思決定。だから、英語的には本人の言葉として言葉が形成されているんですけれど

にほんご しえんしゃ もんだい いんしょう しえんしゅう す
も、日本語は支援者の問題というふうに印象としてはなっていて、ちょっと支援臭がし過ぎるというか、なので、

しえんしゅう だっしゅう ほんにん か くにたち かん
支援臭を脱臭して、やっぱり本人ということで書いたほうが国立らしいんじゃないかという感じてした。

じむきよく みな ほんとう ていあん さまざま たちば はなし おも
【事務局】 皆さん、本当にいい提案をありがとうございました。様々な立場からお話をいただいたかなと思い

ます。ぜひ今このグループの皆さんで出していただいた御意見で、私はこう思うとか、ほかのグループに対し

て、それはいいねとか、私はもっとこう思うよみたいな意見がもしあったら、ぜひお聞かせいただきたいと思う

んですけれども、いかがでしょうか。今この場ではという感じででしょうか。

さき かいちょう たちば けっこう いま おお てんかん むか
先ほど会長がおっしゃっていただいたとおり、どちらの立場からというところが、結構、今、大きい転換を迎え

たかなと思うんですね。事務局でつくっているのは、おっしゃるとおり、支援者の立場から書いている、その立場

というのを、当事者、私というところから見たものに変えるというところで、今、会長から御提案いただいたか

おも
なと思います。

そ ね かいちょう
【曾根会長】グループからです。

じむきょく しつれい そ ね かいちょう ふく みな ごていあん
【事務局】グループからですか。失礼しました。曾根会長を含むグループの皆さんから御提案いただいたと

けつこうこんご おお かか どうじしゃ たちば わたし しゅご
いうところで、ここは結構今後のところに大きく関わってきますので、ぜひ当事者の立場から、「私」という主語

つか しえんしゃ けいかく しえんしゃめせん ごいけん
を使ったほうがいいよとか、いやいや支援者の計画として、支援者目線でつくろうよとか、その御意見を、ぜひ

じむきょく こんご さゆう き おも なに ごいけん
事務局としても今後を左右するのでお聞きしたいなと思うんですけれども、何か御意見ございますでしょうか。

は が いいん さき の しえん どうじしゃ わ
【芳賀委員】先ほどグループでも述べたんですけれども、支援がすぐには当事者には分からないということ

おも じぶん ふくししせつ しゅうしよく なが つと
があると思うんですよ。自分も福祉施設で、就職でこうしたほうがいいよとか、もうちょっと長く勤めたほうがいい

おし どうじ りかい ねん ねん
いよとかいろいろ教えてもらったんですけれども、その当時はあまり理解しなかったけれども、10年、20年た

ひと かんが い き
つと、やっぱりあの人はいろんなことをちゃんと考えて言ってくれていたんだという、そういう気づきがあるか

しえん けつが もと くふう あと き
ら、すぐに支援の結果を求めるんじゃなくて、もうちょっと工夫というか、後で気づくこともあるんだなということ

かんが しえん
を考えて支援をしてもらいたいです。

そ ね かいちょう い し けつてい いま き
【曾根会長】ありがとうございました。意思決定というと、今すぐ決めなくちゃいけないんじゃないかみたいな

かん わり なが じかん なか いしき けいせい
感じがちょっとあるということですかね。割と長い時間の中で意識が形成されてくるということもあるということ

です。

しゅご だれ じむきょく と
ほかにいかがでしょうか。主語を誰にするかということが事務局からの問いかけでしたけれども。

じむきょく おそ こんかい けいかく だれめせん みな まよ
【事務局】恐らく今回の計画が、そもそも誰目線でつくられるべきかというところに皆さんの迷いがあるんじゃない

おも こんかい ぎょうせいけいかく じっさいぎょうせい と く
ないかなと思います。今回のものは行政計画ではありますので、実際行政がどういふふうに取り組んでいくか

という内容が書かれるものではありません。

ただ、今回審議会の中で、事業はともかくとして、意思決定について、どういうことを大切にして書いていくのか、みんなで考えたのかというのを出すところかなと思いますので、ここに関して、やっぱり主語を「私」にしようよということは書けるとは思います。なので、別にこの計画が誰のためにつくられるべきかというよりも、皆さんがどういう視点を大切にしたいかというところを、今の段階ではおっしゃっていただけたらいいのかなと思います。

【曽根会長】どなたか御意見がありましたら。

では、秋野副委員長。

【秋野委員】急な御指名をいただいてびっくりしました。何となく皆さん、御本人目線で、御本人の権利擁護の視点で、この意思決定についての項目は書かれるほうがいいんじゃないかと感じているんじゃないかと、私は勝手に感じながらいました。会長のグループの方々の御指摘で、そうだよと改めて思いまして、水島弁護士の意思決定支援のお話のときも、支援つき意思決定だという話はありましたし、主体は御本人、御本人のための支援つきの意思決定というところに立ち返って、ここは書かれたほうがいいんじゃないかと、個人的には思いました。

【曽根会長】秋野さんも、主語は私で御発言いただきました。

ほかにいかがですか。井上さん、何かありますか。

【井上委員】考えます。

【曽根会長】少し考えてということではよろしいでしょうか。

あと、どなたか何かありますか。金澤さん、何かありますか。

【金澤委員】私、支援された意思決定という言葉がすごくぐっと来たあのときのことを思い出しました。主語

を私、軸を私に置いて、言葉もすごく平たい、分かりやすい言葉であつたので、すごくいいなと思って感じました。

分かりやすい。たたき台としては、支援する側のことをたたき台としてつくっていくとしても、その中に、支援され

た意思決定についての私を軸とした言葉が盛り込まれるというのも、成り立つのではないのかなと、勝手に

おも
思いました。

【曽根会長】私は勝手にそう思ったということですね。ありがとうございます。

こやま なに
小山さん、何かありますか。

【小山委員】私は、今あすなろという重度の、いわゆる知的しょうがいと、身体しょうがいを併せ持った方のと

ころで支援に当たっているんですけども、なかなかそういう方の意思決定って、毎日そこで身もだえている

感じて、すごく難しいというか、奥が深いというか、分からないところもいっぱいある中で、やっぱりなかなか

自分で意思を言葉としてとか、そういう表明はできない方々の傍らに立って、いつも意思を考えてるとき

に、やっぱりその人たちにとってというのが、まだそこになかなか追いついていけないというか、そこでたたずん

でいるというか、傍らに立っている支援者みたいな感じがあって、あくまでもその方が主人公であってという

かたち
形のものでできていくといいなというのは、話を聞きながら思っていました。

【曽根会長】ありがとうございます。事務局、いいですか。

【事務局】そうしましたら、反対意見は特にないようですので、具体的な書きぶりは会長と御相談させていた

だきながら、事務局のほうで改めて出していきたいなと思います。今のお話は、恐らく大事なことというところ

と、たたき台の6ページの意思決定支援についての書きぶりについても、恐らく当事者目線で書くべき部分と

いうふうに事務局も認識しましたので、改めて書いて皆さんに御提示をしたいと思います。

もし御意見がございましたら、事務局のほうにメール等で頂戴できればと思っております。

皆さんにたたき台をお示ししております。ちょっとお時間が大分迫ってきてしまいましたので、簡単に、前回ま

でにどの辺を変えたかというところで、5ページをお開きいただいてよろしいでしょうか。

(2)のところです。もともと意思決定支援と権利擁護支援という2項目にしていたんですが、権利擁護支援と

意思決定支援と権利侵害からの回復支援と、厚労省の資料をベースに作っております。ただ、今、意思決定

支援という言葉を使うのか、支援された意思決定という形にするのか、改めてその辺の書きぶりについては

御相談しながら決めていきたいなと思っております。

続きまして、10ページを御覧ください。施策です。基本施策について、前回、3つの施策としておりましたが、

今回4つの施策に変えてあります。中身は後ほど御覧いただければと思います。その中に個別の施策の例も

書かせていただきました。

次の審議会は、意思決定支援か、支援つき意思決定かちょっと分からないんですけれども、その内容とともに

に具体的にどういう事業をやっていくべきなのかというところに遂に入りますので、皆さんも、こういうことをや

ってほしいなというのがありましたら、ぜひ事務局にお伝えいただければと思います。理念も大事ですし、

具体的にやっていくことも大事ですので、そのあたりをよろしくお願いします。

スケジュールですと、あと3回で中間答申にたどり着かなければなりませんので、事業のところは少し駆け足

ぎみになってしまうかもしれないんですけれども、そのあたりは御協力いただければと思っております。

【曾根会長】^{そ ね かいちょう} ありがとうございます。^{いじょう} 以上でよろしいでしょうか。

いろいろ具体的な施策^{ぐたいてき しさく}についても御意見^{ご いけん}を事務局^{じむきょく}までいただきたいというお話^{はなし}でしたので、皆さん^{みな}御希望^{ご きぼう}の^{つた}ことをお伝え^{おも}いただけたらと思います。

【事務局】^{じむきょく} 最後^{さいご}、次回^{じかい}、第7回^{だい かい}の審議会^{しんぎかい}ですけれども、令和7年8月7日^{れいわ ねん がつ にち}の木曜日^{もくようび}を予定^{よてい}させていただきます。

時間^{じかん}、場所^{ばしょ}は今回^{こんかい}と一緒^{いっしょ}でございます。この場所^{ばしょ}で、情報交換^{じょうほうこうかん}、お茶会^{ちやかい}を6時半^{じはん}から、審議会^{しんぎかい}を45分^{ふん}から開催^{かいさい}

する予定^{よてい}でございます。また、その次の会議^{つぎ かいぎ}、第8回^{だい かい}は10月9日^{がつ にち}の木曜日^{もくようび}を予定^{よてい}しております。

本日^{ほんじつ}の議事録^{ぎ じろく}につきましては、7月^{がつ}の中^{ちゅう}旬^{じゆん}ぐらいをめどに、委員^{いいん}の皆様^{みなさま}へ送付^{そうふ}できるよう準備^{じゆんび}してまいりま

すので、御確認^{ごかくにん}をよろしく願^{ねが}いいたします。

【曾根会長】^{そ ね かいちょう} それでは、以上^{いじょう}で本日^{ほんじつ}の審議会^{しんぎかい}を終わ^おりたいと思います。皆さん^{おち}お疲れ^{みな}さまでした。^{つか}